

第5期 麻生区区民会議 第4回全体会議

- 1 開催日時 平成27年6月12日（金）午前10時00分～午前11時06分閉会
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
石井（郁）委員、石井（よ）委員、石川委員、植木委員、岡倉委員、
小尾委員、金光委員、志村委員、白井委員、菅野委員、高倉委員、
高橋（克）委員、高橋（慶）委員、林委員、宮本委員、山田委員、
吉垣委員
(欠席) 上野委員、梶委員、横田委員
[参与]
木庭参与、月本参与、石川参与
(欠席) 雨笠参与、老沼参与、勝又参与、花輪参与、山崎参与、相原参与
[事務局]
井上課長、白石担当係長、麻生、佐藤、榎本
[関係者]
多田区長、向坂副区長、小金井区民サービス部長、
宮田地域保健福祉課長（代）、猪又保健福祉センター副所長、
綱島道路公園センター所長、岩佐こども支援室長、川本総務課長、
中村地域振興課長、別所生涯学習支援課長、三枝危機管理担当課長
- 4 傍聴者 1人

第4回麻生区区民会議

日 時 平成27年6月12日（金）

午前10時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午前10時00分開会

1 開 会

金光委員長 定刻になりましたので、第4回麻生区区民会議を開催したいと思います。

きょうの会議は、今までは午後3時からの会議だったんですけども、朝の10時ということで、皆さん方、大変お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。また、雨の中参加していただきまして本当にありがとうございます。

2 議 事

金光委員長 それでは、本日の議事並びに資料について事務局より確認をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

事務局 それでは、資料の確認の前に、この4月に区役所の職員の異動がございましたので、まずそちらの紹介をさせていただきます。

まず、向坂副区長でございます。

次に、岩佐こども支援室長でございます。

次に、小金井区民サービス部長でございます。

次に、保健福祉センター所長が若尾保健福祉センター所長にかわりましてけれども、本日、所用のため欠席とさせていただいております。代理で、宮田地域保健福祉課長でございます。

次に、猪又保健福祉センター副所長でございます。

次に、川本総務課長でございます。

最後になりますが、別所生涯学習支援課長でございます。

それでは次に、配付資料の確認をさせていただきます。

お手元の資料のまず一番上に、本日の会議の次第がございます。次に、資料1といたしまして席次表、資料2といたしまして第5期麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3といたしまして若い世代が住みやすいまちづくり部会調査審議状況、資料4といたしまして市民活動・地域活動の活性化部会調査審議状況、資料5といたしまして区民会議ニュース（案）、資料6といたしまして第5期全体テーマの検討について、それから、これはホチキスどめをして3枚つづりですけども、資料7といたしまして区民会議からの充て職について（案）、資料8といたしまして第5期麻生区区民会議スケジュール（予定）、あと、委員の皆さんについては、石川委員から、ピンク色のA4判のチラシ、「かがやいて麻生ストレッチ体操教室」を配付させていただいております。

これは申しわけありませんが、区民会議委員の皆様のみとなっておりますので、ご了承いただきたいと思えます。あと、参考資料が先ほどの資料の後ろについておりました、参考資料1として第3回麻生区区民会議議事録、参考資料2といたしまして平成26年度区民会議交流会報告がございます。資料については以上となっております。不足等がございましたら、事務局までお申し出ください。資料のほうはよろしいでしょうか。

金光委員長 どうもありがとうございました。

(1) 第5期麻生区区民会議調査・審議課題等について

ア 若い世代が住みやすいまちづくり部会の検討経過及び意見交換について

金光委員長 それでは、議事の第1、第5期麻生区区民会議調査・審議課題等について、

ア、若い世代が住みやすいまちづくり部会の検討経過及び意見交換についてに入りたいと思えます。

まず初めに、若い世代が住みやすいまちづくり部会の白井部会長から、その検討経過についてご説明願いたいと思えますので、よろしくお願ひします。

白井委員 資料3を見ていただきたいと思えます。これまでの若い世代が住みやすいまちづくり部会の調査審議状況ということで、背景、対象、方向性につきましては前回もお話しさせていただいておりますので、簡単にお話をします。

少子高齢化というのは日本全体がこういう形になっているんですが、麻生区も2040年には35%という予測がありますので、そういったことを踏まえて、今後若い世代が住みやすいというような方向がこの中で出てまいりまして、対象としてはここに掲げているようなお話です。方向性は、こういったことをどう解消していくか。麻生区もだんだんいろんな問題を抱えていくだろうということで上がってきたのが若い世代が住みやすいまちづくりというテーマでございます。

真ん中に、具体的取組みに関する主な意見ということで、ここまで議論を進める中で、取組みを3つほどに集約させていただいております。1つは、麻生区の魅力のブランド化とPR、もう1つは、空き家の利活用、それから、子ども達とその親などが集う「場」づくりということで、3つを進めてきたんですけども、ここへ来まして、今この矢印がありますように、1と3は関連をしてくるだろうと。要するに、麻生区の魅力の1つとして、遊び場も含めて子どもを育てる環境づくりというのが必要であるということで、ここで一緒のテーマということで、大きく分けて2つに絞ってきております。

これまでの意見の中で、1つは、千葉県流山市に住んでみたいまちのかなり上位に挙げられているということで、その取組みはどうかと。環境も、人口程度もどうも麻生区に割合近いというか、同様な傾向があるだろうということで、この資料を

取り寄せまして、調査に行こうということをやっていたんですけども、流山市のほうでの受け入れ体制が余りないということもありまして、こちらから質問をして幾つか答えが返ってきております。PRをうまくやってきているということがありまして、ブランドというか、イメージアップにつながってきている。新線が開通したということでかなり交通の便もよくなってきているし、子育て環境も、例えば子どもを駅前で預けて、それから送迎サービスというようなことも進めているようです。詳細については資料等がありますので、また見ていただければと思います。

それからもう1つ、魅力というのは、芸術のまちというのも1つありますし、安全で住みやすいということで従来から麻生区のイメージは割合いいんですけども、この辺のPR不足ということです。それから、やはり生産年齢の人がふえるということは、駅前の環境であるとか、そういった交通の利便性も含めて向上させていくことも必要であろうということが議論をされております。それをどうしていったらいいかということも今後考えられると思います。

もう1点は、2番目の空き家の利活用です。これも高齢化が進んだということもありますし、ここへ来て日本中の話題になっていますが、麻生区も空き家がかなりふえているという統計上の数字もありますし、県で検討されている中でも、王禅寺地区のある部分をモデル地域として調査をしたということもあって、今後、例えばシェアハウスのようなことも——これもいろんなところで取り組みはされているんですけども、この辺の情報をどういった形で若い人たちに提供していくのかということで、ある種の団体を立ち上げるのか、あるいは不動産業者の情報等、どういうふうにかかわって情報を流していけるのかということで今議論を進めております。これも若い世代が住みやすいという一部だろうとしております。

それから3番目は、先ほど話しましたように、1のブランド化というところに組み入れるということなのですが、麻生区内でも、例えば、上麻生隠れ谷公園、わ・わ・わクラブ、プレーパークを創る会等いろんな遊び場等の取り組みはされているんですけども、全体的にはまだ遊び場が不足していたり、あるいは普通に遊べる環境ではないということがあったり、あとは若者カフェのような若者が交流できる場がないのかなということで、この辺もどういうふうにつくっていけるのかということで話をしております。

右のほうに移らせていただき、今後の取り組み、取組み1、麻生区の魅力のブランド化とPR、生産年齢の子育て世代が入り込んでくるようなまちにするために、1つは、ブランド化とPRということで、区の中でこういうイメージということで、今までもいろんな場面で幾つかアンケート調査もされていると思いますので、もう1度この辺を見直して、ではどういうことを改めて聞くのかということで今検討しております。その下の中央にあるように、先ほども申し上げた流山市の取り組み等、先進事例

を調査するというのがこれからのことです。それから、魅力につながる資源をもう1度しっかりした形で整理していく、魅力の1つとして場づくりということに今後取り組んでいく、うまくブランド化として発信するための方法をどうしたらいいかということまで来ております。

もう1つ、空き家の利活用については、やはり学生さんとかは高額の家賃ではなかなか入りにくいだろうということで、若い人たちが入り込んでくるようなまちにするための1つの手段として、この辺をうまく活用しながら空き家対策も含めてやっていければと考えております。

最後に、その中で、市、区における調査・検討状況をもう1度確認する。かなり統計的な資料もあったものですから、これも改めて整理していこうと。それから、今後は不動産業者等にどういったことが考えられるかというヒアリングを行う。それから、若者と空き家を結びつける方法ということで、ここまで来ておりますが、今後は、調査を含めて、どういったところで提言ができるかということ話し合いの場で詰めていきたいと思っております。

現状では以上のような形でございます。

金光委員長 ありがとうございます。今の説明について、皆様方からの補足、あるいはご意見は何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、今の報告と意見を踏まえて、若い世代部会についての検討の方向性、あるいは審議の進め方について異議はありませんでしょうか。

[異議なし]

金光委員長 それでは、異議がないものとし、ここでこれを了承したいと思います。

イ 市民活動・地域活動の活性化部会の検討経過及び意見交換について

金光委員長 それでは、次の議事に入りたいと思います。

イ、市民活動・地域活動の活性化部会の検討経過及び意見交換についてに入りたいと思います。

市民活動・地域活動の活性化部会の岡倉部会長から検討経過報告をお願いいたします。

岡倉副委員長 それでは、私から報告させていただきます。資料4をごらんください。麻生区区民会議市民活動・地域活動の活性化部会調査審議状況についてでございます。

まず、背景ですけれども、私どもの部会では、市民活動、地域活動の活性化ということについて、団体とか活動分野です。例えば、福祉とか環境、子育て、防災、健康、スポーツ、安全安心、芸術文化とかいろんな分野があるんですけれども、そういうものを対象にするのではなくて、また、120幾つかある町内会、自治会とか、今、麻生区にはNPOが41団体あるという話も聞いたり、麻生区が協働している団体という

のは61あるとか、最近、麻生市民交流館やまゆりでは利用登録団体が600を超えたというやまゆりニュースを見ましたが、そういう活動分野についての議論は余りなされなくて、ただ、そういう担い手づくりをどうしようかという話で議論が進んでおります。

その背景として、1、背景に実際に活動する担い手づくりが必要であると書いてあります。家にとどまっている高齢者の方に外に出てほしい、どうやったら家にいらっしゃる方が地域にデビューしていただけるかという議論が主になされています。背景の2つ目として、コミュニティづくりとあわせて障害者や高齢者等が住みやすいまちづくりが必要であるという背景を受けまして、2、方向性・課題の抽出ですが、議論の中で6つの課題が出ました。その中から、現在は4つのテーマに絞って議論を進めております。この6つの中で、地域人材の育成と人材活用という図のところがあると思いますが、これについては第2期区民会議審議事項ということと、もう1つ、麻生区地域人材育成連絡会議のほうで議論されているということで、優先順位から外しまして、ボランティアの活動促進を最優先テーマとして現在審議を進めているところでございます。これについては前回のときに報告をさせていただいております。優先テーマとして、情報発信の環境整備、シニア等の地域への参加。そして全体へ係る課題として市民活動等への運営支援ということを挙げております。

ボランティアの活動促進ということを最優先のテーマといたしました。今月、6月1日号のかわさき市政だよりで1面と2面を使ってボランティア特集がなされています。「ボランティアを始めたきっかけはなんですか?」とか、とにかくボランティアをやりたいということで、市としてボランティアを特集されていて、この部会の審議と同じような方向を向いているなということで、先ほど市政だよりを見せていただいて勇気をもらったところでございます。

その次に、真ん中のところでございます。これまでの議論の中で、部会のほうでいろいろ議論をしてきました。地域の人たちをボランティア活動にという方向なんですけれども、その中で、ボランティアの意識の変化ということでまとめたものがSTEP 1、STEP 2、STEP 3、STEP 4、STEP 5ということで、ボランティアに携わる人の意識の変化というものを捉えております。STEP 1のところは、定年を迎えたシニア世代の方がやってみようかなと思った、そういうボランティアに対する思いとか関心を寄せたときに、そういう場面で、STEP 2、ボランティアの相談窓口とか講座、体験学習から、また仲間からの誘い、妻から背中を押されてなど、何らかのきっかけとして一步を踏み出してみるという形に意識が変わっていく。そして、STEP 3、4、5となると、ボランティア活動をしている中でいろんな問題が起きてきますよ、そういう問題も1つずつ解決することでボランティア活動が促進されるというボランティア意識の変化という形で議論をまとめております。

その後の四角で囲ってある意見の整理ですけれども、まず1つとしては、多くの人にボランティアについて知ってほしいことがある。ボランティアというのは、人のためというのがありますけれども、やはり自分のためにつながるんだということです。余生は世のため人のため、そんな話とか、やはり多くの人にボランティアについて知ってほしいことがある。その次は、参加のハードルが低いボランティア活動から、長くボランティア活動を続ける人をふやす。これは単発なボランティア活動です。3日とか1日でもいいんですけれども、そういうボランティア活動に参加した人にもっと長く続けてもらうにはどうしたらいいかとかという意見がここに書いてございます。その下のボランティアをやりたい人や関心のある人をどのように外へ出すのかを検討する、ボランティアをやりたい人や関心のある人に情報を届ける必要があるという意見が出てございます。

これと並行しまして、部会としましては、区民の目線に立ちまして、行政や行政関係機関が募集するボランティア情報はどのようなものがあるかというのを実際に調査しました。市のホームページとか麻生区版のホームページ、チラシとか、どういうところから情報が得られるかということも含めて、ボランティア募集の情報をどういうふうに得られるかということを経験、調査しております。その結果としまして、ボランティアに関する情報とか、ボランティア養成講座、入門講座、今は成人式のサポーターとかとありました。そのほかにも緑のボランティア、学校ボランティアとか、ボランティア募集に関する情報というのは多くありましたが、どうしてもその情報が組織別で探さないと探しにくいということもありまして、もう少し改善をすれば探しやすくなる、受け取りやすくなるということがその調査の中でわかってきております。

そういう調査と、これまでの議論を踏まえまして、STEP 2の右側の今後の審議、具体的な審議対象ですが、具体的な審議内容として、STEP 2の段階を捉えまして、ボランティアをしたい人や関心のある人がボランティア活動への一歩を踏み出せるように、受け取りやすい情報発信の仕方やルートなど、気軽に参加できる仕組みを検討するということが今後検討を進めていきたいと考えております。

その下の提言に向けての進め方の例ということなんですけれども、アンケート調査と書いてございます。これにつきましては、実際に麻生区におけるボランティア活動への関心がどのぐらいあるのか調査して、そしてまた、そういうボランティア活動への参加を妨げている要因、早い話、例えば高齢者の方が家にとどまっている、そこから一歩出せる仕組みを何とか考えていけるようなアンケート調査を進めていきたいと考えております。具体的には、アンケート調査を踏まえて、気軽に参加できる——どのような仕組みになるかわかりませんが、それはこれから検討する課題になってございます。

それと、市のほうで川崎市市民活動支援指針が改定の準備をされているということ

と、協働・連携に関する基本的な方針の策定が検討されていますので、そういうことにも関心を持って審議を進めていければなと考えているところでございます

以上です。

金光委員長 ありがとうございます。今の説明について、委員の皆さん方から補足並びにご意見はございますでしょうか。

植木委員 何も質問が出ないと盛り上がらないと思いますので、一つだけお願いをしておきたいと思います。

今、岡倉さんの説明の中で、緊急性大、必要性大の一番右側、地域人材の育成と人材活用というところがスポットライトを浴びております。先日の私どもの部会で、これについては今年度どのようなことを取り組まれるんですか、担当部門の方にぜひご説明いただきたいというお願いを申し上げました。ところが、残念ながら出席をしていただけなかったんですね。それはまだいろいろと固まっていないということでございました。

そういうことでございますので、要望ですけれども、次回の私どもの部会に、一番重要な部分であることについて行政の方からご説明をいただければなというように思いますので、お願いをしておきたいと思います。

以上です。

金光委員長 これは行政のどこの担当部署ですか。

植木委員 それは行政の方々が答えることで、私が答えることではないと思います。

金光委員長 事務局のほうで、今の申し入れに対してはよろしいですか。

事務局 では、ただいまのご要望につきましては、次回の部会までに事務局のほうで検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

金光委員長 では、よろしく願いいたします。

そのほかにもございますでしょうか。

それでは、今の報告と意見を踏まえて、市民活動・地域活動の活性化部会の方向性並びに審議の進め方についてご異議はございますでしょうか。

[異議なし]

金光委員長 なければ、異議がないものとして承認したいと思います。

ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

金光委員長 それでは、次の議題へ進みたいと思います。

企画部会の検討経過報告及び意見交換についてに入りたいと思います。

企画部会の高倉部会長から、区民会議ニュースについての報告をお願いしたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

高倉委員 では、私から、今ご紹介がありましたように、企画部会として検討しました区

民会議ニュースと、もう1点、区民会議の全体テーマについてということでお話しさせていただきます。

まずは、区民会議ニュース第2号の発行についてでございます。区民会議ニュースは、区民会議の認知度を向上することを目指して発行するというのが大前提でございます。その方法は、町内会、自治会への回覧をお願いして、各区民の皆さんに見てもらおうということでございます。当初は年3回から4回の発行ということで予定しておりますけれども、今期は若干スローペースということで、今やっとならば第2号を発行しようという段階でございます。

第2号の発行に当たりましては、まず、企画部会のほうで、企画部会の広報担当を中心に案を作成いたしました。その内容は、具体的に申し上げますと、資料5をごらんいただければと思います。今回は、審議テーマの進捗状況を発信しようというものでございます。この前3月には第1号を発行したわけでございますけれども、そのテーマは、審議テーマをご紹介、それから各部会の構成を紹介する、そういったところにとどまっておりましたので、今回はいよいよ中身の進捗状況を発信しようということでございます。ということで、主な内容は、もうご存じのとおり、各部会の審議内容を詳しく掲載ということでございます。

資料をごらんになりながらお話を聞いていただければ結構でございますけれども、まずタイトルがでございます。その下に、アイキャッチ的なタイトルといたしまして、「地域課題の解決に向けて調査・審議を進めています！」ということでございます。全体の構成は、その下半分に、若い世代が住みやすいまちづくり部会の審議内容、裏面で、市民活動・地域活動の活性化部会の審議内容、主な意見を中心として掲載しております。最後に、区民の皆様方にこのテーマに関しましてご意見を頂戴するというような形で、ご意見承り欄と申しますか、そういったことを書いております。各部会の記事内容の細かい部分につきましては、先ほど各部長さんから細かいご説明がございましたので、この場では省略させていただきたいと思っております。

こういうような内容で第2号を発行したいということでございます。この会議でご承認をいただいた後、発行日が6月17日となっておりますけれども、6月17日に印刷して、その日を発行日として発行したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。こういったことをお諮りしたいと思います。

まず、第1点、よろしく申し上げます。

金光委員長 ありがとうございます。区民会議ニュースについては、今、各部会で審議している審議の進捗内容について紹介をしていくという今のご説明がございました。

このことについて、異議、あるいは意見はございますでしょうか。

石井（よ）委員 区民会議ニュースというものは一応かなりのところに配布されるものですよ。

金光委員長 各町会に配布して、回覧をしていただくということになっています。

石井（よ）委員 編集のほうは企画部会ということでございまして、ありがとうございます。審議状況を書くということなんですけれども、「主な意見から」というので、意見がこういうふうに羅列されると、この意見にかなり左右されるというか、なので、私たち区民会議委員の意見はこうだけれども区民の皆さんはいかがですかみたいな問い合わせがちょっとあってもいいのではないかなと思いました。

もちろん下のほうに、「ご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただきますよう」と書いていらっしゃると思いますので、気づいた市民はお書きになるのだらうと思いますけれども、主な意見というのを羅列した場合は、この意見にどうしても——部会がこの意見だけのように印象的に思ってしまう可能性があるので、主な意見というか、その辺を強調していただいて、区民の皆様の意見もお寄せいただければというのをちょっとお書きいただければありがたいなと思います。

金光委員長 この区民会議ニュースの目的は、今、区民会議でどういうことをしているのか、そして、やっていく過程でこんな問題を取り上げて、そしてこういう形で今現在検討していますよということをそのまま率直に全て紙上を通して区民の方々に報告するというのが目的でございます。ただ、それをやりながら、我々がやっている範囲以外の意見等もあるだろうということで、最後の2ページの後ろのほうに、この2つの問題について、さらにほかの違った意見、あるいはこういう点をもっと検討してもらいたいというものがあれば意見として報告してくださいということで、その意見を求めるようなことを今やっているわけです。

今までずっと区民会議をやってきたんですが、今のところ具体的には上がってきていません。この回覧の仕方にも問題があるんです。町会でこれを回覧しますけれども、町会で回すと、こんなにいっぱい報告書が回覧で回ってきて、その中に埋もれてしまうので、これが皆さん方の目にどれだけ触れて読まれているのかどうか私もわからないんですけれども、意外に露出が少ないのかなという感じもしています。今回の場合は、前回出したものについての意見というのが1例上がってきました。それについては、今、我々のほうでこれに対してどうするかということで検討して、事務方からこれに対して回答するような方向で進めていますけれども、来ても1例か2例ぐらいが通常ですね。

石井（よ）委員 わかりました。確かに反応がないというのは寂しい限りでございますが、ただ、主な意見を抽出した場合に、やっぱり議事録ではないので、抽出するに当たって漏れたところもいっぱいあるじゃないですか。なので、これだとテーマについてどう思うかということなんですけれども、テーマだけではなくて、そのテーマに即した意見も少し書けるように、そこら辺をわかりやすくと思っただけでございますので。

高倉委員 貴重なご意見をありがとうございます。まず、先ほどもご紹介いたしましたけれども、今回は審議内容の第1弾ということでございますので、この後、今、石井よし子委員からもありましたように、部会での具体的な決定事項みたいな部分は進捗状況として載せることも可能でございますし、今回はとりあえずこういった形でやらせていただいて、冒頭にも申し上げましたけれども、最後にご意見を承りますという欄も設けておりますので、ご意見はご意見として伺いまして、また今後の発行の参考にさせていただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

石井（よ）委員 ご苦労さまでした。

林委員 企画部会のメンバーでありながら申しわけないんですけれども、先ほどまちづくり部会の白井委員からのご報告の中で、今後の取り組みについては2つにテーマを絞ったよというふうにお話があったかと思ひます。こちらのニュースについては、その前の段階の3つの具体的なテーマを設けてというふうにご報告していますが、まちづくり部会のほうではそれでよろしいのでしょうか。

白井委員 これは先ほどお話があるように段階的に出すというものでしょうから、この段階ではその前の状況というか、その3番目のものは別に消したということではなくて、中に含まれるだろうという整理の仕方ですから、いいかなと思ひます。

林委員 ご了承いただければ結構です。

金光委員長 いろいろな意見、どうもありがとうございました。それでは、今の意見も踏まえて、今後、区民会議ニュースについて改良を加えながら、なるべくいい形でご報告をしていきたいということだと思ひますので、よろしくお願ひ申し上げます。

それでは、今度は印刷、配布についてどういう形で進めるか、高倉部長からご説明していただきたいと思ひます。

高倉委員 先ほど申し上げましたけれども、今度、6月17日に印刷いたしまして、各町内会に配布を依頼するということでございます。

金光委員長 ありがとうございます。

それでは引き続き、第5期全体テーマの検討について、また高倉部長から引き続き報告をお願ひしたいと思ひます。

高倉委員 では、今度は第5期区民会議の全体テーマについてということでお話しさせていただきます。

これまで、1期から4期まで、各区民会議につきましては、各部会の審議テーマのほかに、区民会議全体の方向性と申しますか、ポリシーといいますか、そういったものをあらかず全体テーマを決めてきております。これが最終的な報告書のサブタイトルになるかなというイメージでございます。

お手元の資料6でございます。先ほどお話ししましたように、第5期でも既に2つの部会で審議が行われている中でございますけれども、全体テーマをこれまでと同じ

ように決めようかということで検討してまいりました。若干過去のテーマを見てみますと、お手元の資料6の下半分に1期から4期の全体テーマということで参考の欄がございます。1期、2期につきましては共通しております、「心響きあう地域づくり」ということで、1期、2期の区民会議の各審議テーマが書いてあります。例えば、地域のつながり「あいさつ」がはじまり、市民活動推進、文化芸術のまちづくり等々をあわせて、「心響きあう地域づくり」ということで1期、2期はやっております。それから、3期、4期につきましては「人と人と心をつなぐ地域づくり」ということでそれぞれ審議テーマが書いてあります。4期については、安全・安心のまちづくり、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり、この辺の流れは今期にも引き継がれているところがございますけれども、こういったものを踏まえて、3期、4期は「人と人と心をつなぐ地域づくり」ということでございます。

こういったことを踏まえまして、まず、企画部会で第5期の全体テーマをどうしようかということを検討いたしました。その一歩といたしまして、まずは、麻生とか麻生区という看板をベースに魅力あるまちづくりを表現したいという意見がございました。具体的なキーワードでございますけれども、資料6の上段のちょっと下に企画部会が出たキーワードと書いてあります。あさおのまちづくり、魅力あるまちづくりあさおを目指して、いきいきと、住みたくなる、緑あふれる、若者、ボランティア、こういったキーワードが上がってまいりました。

その後、企画部会だけではなくて、委員の皆さん方全体のご意見を伺うために各部会のほうでも一応検討していただくよう依頼をいたしました。各部会のキーワードとして上がってきたものにつきましては各専門部会が出たキーワードの欄に書いてございますけれども、その結果、人、心がけよう、ゆめ、地域づくりといったキーワードをいただきました。こういったものを踏まえて、最終的には企画部会に任せていただくということになりまして、さらに企画部会で検討を進めてまいりました。その結果、いろいろ集約してまいりましたけれども、基本的には当然ながら2つの部会の審議テーマを踏まえたものにしたいということで、そういったものを共通認識に持とうねということでございます。

最終的にはこう決めたということでお話しさせていただきますと、第5期の全体テーマといたしましては、「心がかよう魅力あるまち あさお」にさせていただくということでございます。若干解説いたしますと、心がかようの中に含まれる意味といたしましては、市民活動部会のほうに大きく関連があるかなということでございます。それから、魅力あるまちは若い世代部会のテーマを包含するものということで、「心がかよう魅力あるまち あさお」を全体テーマとしようということで決めております。

このテーマは、若干個人的な感想も言わせていただくと、第4期のテーマも意識しながら、麻生区にプライドを持って、麻生区区民会議のメンバーとして何かやるぞみ

たいな心意気を少しでも感じていただければいいかなという感じも私は持っております。

以上で全体テーマの説明を終わらせていただきます。お諮りしたいと思います。よろしくをお願いします。

金光委員長 どうもありがとうございました。今の説明で、こういう全体テーマに決まったんだということをご理解いただけたと思います。第2期、第3期のテーマと、今回我々が提案したテーマの大きく違う点は、ほかのテーマには麻生区が出てこないんです。テーマだけをキャッチフレーズでぼんと出したときに、それを読んだときにどこのテーマなのかなとわからないわけですね。それではなかなか浸透しないだろうと、これは麻生区のテーマなんだ、麻生区はこんなことをやっているんだということがわかるように、今回は後ろに「あさお」というのを平仮名でつけたということです。これであれば、キャッチフレーズが独自で動いても麻生区のテーマだとわかるような形になっています。今回はそういう工夫をしたということです。

では、今の説明で、皆さん方から何か追加の説明、あるいはご意見はございますでしょうか。また、これについて、いや、もっとほかのテーマがいいというような異議はございますでしょうか。

[異議なし]

金光委員長 なければ、このテーマで承認したいと思いますので、よろしく願いいたします。

(2) その他

金光委員長 それでは、次の議事、その他で、区民会議からの充て職について(案)に入りたいと思います。これについては事務局から説明をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

事務局 それでは、資料7、区民会議からの充て職について(案)をごらんください。資料にありますとおり、区民会議からほかの会議に充て職として出ている会議は、今、あさお福祉計画推進会議と川崎市麻生区市民提案型協働事業審査委員会の2つございまして、この2つについて委員の中から1名の方が出ていただくような形でこれまで進んできております。

あさお福祉計画推進会議につきましては、ことしの4月に附属機関の見直しがありまして、懇談会というようなくりにされまして、懇談会というのは参加者から個別の意見を頂戴するという会議で、それを何かまとめたりというものではなくて、あくまで委員の意見を調査するだけの会議という位置づけになっております。あさお福祉計画推進会議につきましては、設置の目的としまして、あさお福祉計画の策定、変更、その進捗管理、評価ということをやっております。任期が平成29年3月31日まで

で、現在の委員は、第4期からの流れで、第4期企画部会長、企画部会を代表する金光委員にずっと就任していただいておりますが、附属機関の見直しも終わりましたので、充て職の変更ということで、今後、第5期企画部会長の高倉委員に変更できればということでお諮りしたいと思います。

次に、川崎市麻生区市民提案型協働事業審査委員会につきましては、区民が提案する事業を区役所と協働して実施するというので、その事業の審査と評価をしております。来年2月までが任期で、こちらも現在、前第4期の企画部会長でありました金光委員に就任していただいております。実質的には、来週に平成26年度の事業報告会がありまして、それで活動は終了しますので、任期満了まで金光委員に就任していただく。また、来年2月に任期がかわりますので、その際にはまた区民会議にお諮りしたいと考えております。

事務局からの説明は以上です。

金光委員長 ありがとうございます。ただいまの充て職について、事務局からの提案が下記のとおりにありましたけれども、これについて何かご意見はございますでしょうか。あるいは異議はございますでしょうか。

なければ、これで承認したいと思います。よろしくお願い申し上げます。

それでは、本日の議事は以上となります。本日は、お忙しい中ご出席いただきまして本当にありがとうございました。

また、今回の会議に参加の先生方がご参加されておりますので、先生方からぜひひとつご意見をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

木庭参与 では、出席番号の早い私からご挨拶させていただきます。

皆様、本日は大変お疲れさまでございました。市議会議員の木庭理香子でございます。4期のときにやられた防災ですとか子育ての案が、この区民会議で諮られたことが今区政に生かされているということを考えますと、今回拝見した皆様の部会のそれぞれの提案、現状などを拝見しますと、また実を結びそうな課題であるなというふうに非常に感じ入りました。

そして、私たち議員としてできることは何かということだと思ったのは、資料3にありました流山市との視察がいま一つうまくいかないというお話だったんですけども、これも私たちが行政視察として流山市に諮ることで、例えば、私たち議員と一緒にいくですとか、そういうことがあればもしかしたら前に進むのかなということも思いましたので、これは行政のほうに確認していただいて、もし議員が同行するのであれば可能かどうかということも含めてやっていただければいいのかなと思いました。

また、空き家の利用ですけれども、今、若者を対象にお考えみたいなんですけれども、これは1つ提案なんですけど、例えば高齢者とか、保育の場づくりの活用ですとか、あとは高津区にあるんですけれども、母子家庭専用のシェアハウスということも

学校の近くの空き家なんかでしたら非常に喜ばれるのかなとも思いますので、またこれも検討に入れていただけたらいいかなと思います。ただ、空き家の場合、耐震性とか、特に高齢者が使う場合にはバリアフリーということも非常に必要になってくるので、これもそう簡単にはいかない話かもしれないんですけども、皆さんにぜひ話っただけいたらなと思いました。

次の資料4にあるボランティアの参加の部会のご説明なんですけれども、石井よし子さんもいらっしゃるんですけども、私自身も、里山保全のボランティアに積極的に参加をさせていただいて、そこで同じ思いを持った仲間と出会うというのは自分にとっても非常に有意義だなと思うので、こういうことをもっと活性化できるような支援をぜひ皆さんと考えてやっていただきたいと思います。やはり高齢者や障害者の方が外に出る機会として、この川崎市の中でも麻生区は特に公共交通が未発達というところがありますので、私もこれはずっと4年間やってきているんですが、交通手段の創出ですね。コミュニティバスも含めて、あと路線バスの延伸、そういったことも私たちが議会でしっかりと声を上げてまいりますので、皆さんにはその後方支援として、障害者とか高齢者の方が外に出る機会の創出をぜひ設けていただきたいと思いました。

あともう1つ、先ほどボランティアをやりたい人に、なかなかその手に情報が届かないということで、ちょうど今私も議会でやろうと思っているところなんですけど、月本さんにはばれてしまいますけれども、ホームページの活用がなかなかうまくいかないというところがありまして、所管している局に対して、どのキーワードを入れればその情報に届くんですかと、私たちが聞かないと届かない状況があります。にもかかわらず、行政は、ホームページで書いています、市政だよりで書いていますという一点張りということがありますので、ここは皆さんも問題視していただいて本当にありがとうございますという形で思いました。

あともう1つだけお伝えしたいのは、区民会議ニュースなんですけれども、これは全戸配布はできないんですか。というのは、よく私も町会の回覧が回ってくるので、これはいいなと思う情報があっても一々コピーをしている状態なんです。せっかくこういう欄を設けているのに、コピーをしてまで書こうかな、送ろうかなという人はなかなかいないと思うんです。だけど、これが来て、そのまま入れるだけで済むのであれば書くこともあるのかなと。今、せっかく皆さんに情報を発信しているのに戻ってこないというのがお悩みであれば、わら半紙であれば料金的にどうなのかわかりませんが、全戸配布というのを1度やってみるのもいかがなものかなと思いました。済みません、長くなりました。

月本参与 皆さん、お疲れさまです。この4月に再びしぶとく戻ってまいりました川崎市議会議員、無所属の月本琢也でございます。

きょうは2つの主なテーマということで、それぞれの部会からのご報告をいただいて、方針ということで、1つ目のまちづくり部会では、一応私はまだ36歳なので若い世代で、ちょうど共働きという話もあったので、共働き世代の1人としてもきょうはお話を聞かせていただきました。今、木庭議員からの流山市の視察の件については、今年度の区議団の当番幹事でもありますので、そちらのほうも木庭議員と一緒に頑張ってバックアップできればと思っております。

麻生区の魅力、ブランドづくりということで、以前、地域の若い世代の方で新百合ヶ丘を歩いて、いいところ探しというのをやられていたんですけども、私も1回、柿生でまち歩きのタウンミーティングというものをやったことがあって、あえて土日にやったんですけども、いろんな世代の方に参加いただいて、まち歩きをしながらその魅力を改めて考えたり、あるいは課題を見つけて意見を出し合ったりという機会をつくったことがあります。実際、魅力を持っていく中では、これは1つの参考例なんですけれども、これから調査をされていきますから、調査の段階から若者も一緒になって参加できるようなものをひとつご検討いただければ、また新しい方向性へ進むのかなと。

これは、もう1つの地域活動の活性化部会のほうにも通じる話なんですけれども、ここでも出てきているプレーヤーになっていくということと、あと、参加のハードルを下げていくということで、ボランティアのイメージを変えていこうという今回の部会の大きなテーマというのは、地域活動はいろんなボランティアがあって、ボランティアという物すごく負担になるのではないかというイメージを持たれていますので、そのイメージを根底から変えていこうと、それぞれの立場でできる範囲のことをできる形でやれるというように、このハードルを下げていこうという発想を区民会議の立場で発信していくということは初めてです。私も、ほかの区で聞いていても、個々のボランティアの課題とかについてはお考えになられるんですけども、ボランティアというものに対する考え方のハードルを下げていこうという意識の啓発というのは初めての試みかなということもありますので、麻生区区民会議でのモデルというのは結構新しい形で意識啓発になるのかと思っております。あと、区民会議ニュースも一人でも多くの方に行き渡って、皆さんに知っていただく機会をふやしていくということも本当に大切でございますので、きょうはこれからの活動に期待を申しあげまして、一言、失礼いたします。ありがとうございました。

石川参与 改めまして、こんにちは。きょう初めて参加をさせていただきます神奈川県議会議員になりました石川でございます。

きょう初めて参加をさせていただいて、こんなに熱心に、熱く麻生区のことを考えていらっしゃる会議があるんだということを知らない方はまだまだいらっしゃると思います。私自身も、正直、こういう会議がこういうペースで行われているということ

を知らなかった1人でもあります。きょうお話を聞いている中で、福田市長が言われている「最幸のまち かわさき」、麻生区にお住まいの皆さんの満足度をどう上げていくのかというお話なのかなと感じました。

そういう中で、私もはるひ野に住んで今10年になりますけれども、はるひ野で2回引っ越して、その前は栗平というところに住んでおりました、麻生区に来て、最初にあさお区なのか、あそう区なのかわからない、これは今も言われていますけれども、こういうところから引っ越してきました、麻生区というのは本当にいいまちなんだと。私も今、高校1年生になる子どもがいますけれども、はるひ野小中学校に通いまして、子どもも本当に楽しくはるひ野のまちで遊んでいました。そういう中でいけば、住んでいただければ麻生区のまちがいいまちだということは十分理解していただけたと思うんですけれども、そのPRをぜひもっとこの場でしていただければと思います。

初めての参加なんですけれども、また今後ともご指導をよろしくお願いします。ありがとうございました。

金光委員長 どうもありがとうございました。

区長からのご挨拶をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

区長 お疲れさまでございました。3月に第3回の全体会を開いて、その後に各部会で大変活発な意見交換、議論をいただいたということを所管課から逐一報告を受けていまして、きょうは余り盛り上がらなかったようなんですけれども、引き続き議論、研究をよろしくをお願いしたいと思います。

各部会の報告をいただきまして、若者のほうは流山市との比較がございましたけれども、人口規模も大体同様だというお話がありました。神奈川県で言いますと、横浜、川崎の政令市を含めて19市、それから14町村、つまり33の基礎自治体があるわけなんですけれども、今、麻生区の人口は今年17万5500ぐらいになりましたけれども、人口だけで見ますと11番目、鎌倉や秦野よりも人口規模で言うと大きいんです。ですから、私どもも、川崎の中の7区の中の比較的平和な麻生区ということではなくて、神奈川県11番目ぐらいの都市規模があるということを、区という立場ですけれども、気持ちだけはしっかり自覚しながら事業を進めてまいりたいと思っております。そういう意味では、きょう決定いただきました「心がかよう魅力あるまち あさお」、ぴったりのキャッチフレーズをつけていただきまして、私どももしっかり取り組んでまいりたいと思います。

それから、前期に若者部会で取り組んでいただきました子育てフェスタは、今期は9月に行うということで、前期の区民会議の皆さん、そしてまた皆さんにもご協力いただきまして、大変多くの団体にもまた同様に集まっていただきまして取り組むことになりました。終わったら、各団体が協力し合ってつくったという一体感がまた昨年

のように持てるように運営にも心がけたいと思います。心配は天候だけということですから、それ以外は順調に進んで万全を期したい、こんな取り組みも進めております。

また、市民活動・地域活動の活性化部会の取り組みの中で、さまざまなボランティア活動への誘導ですとか、つまり地域の担い手、地域の主体をつくるということを研究していただいておりますが、今川崎市も総合計画をつくっております、いよいよこの7月に基本構想なりをまず議会に全体会議の中でご報告して、基本構想につきましては12月ぐらいに議決を経るというスケジュールで進んでおります。今、その策定作業にも細かな資料を含めて区のほうでも取り組んでおまして、特にそのキーワードとして、高齢化とか、人口の減少等もございましたけれども、私ども麻生区はこの後市内でも一番高齢化が進むという状況を受けまして、今度の主要事業の中では、高齢化への対応、それから、健やか、支え合いのまちづくりというのをつくりました。これはその手法として、計画化するとき、区民会議の皆さんが今取り組んでいるテーマなどもまぜて、計画書の中にはこういうこともしっかり連動してやっていくということを入れたんです。普通、区民会議の皆さんだと、1期終わって、諮問とか報告を受けて、それから市はどうしましょうかという動きというのが普通なんですけれども、今の審議状況もございますので、そういう取り組み状況も踏まえてともに進めていく、こんな手法も含めて総合計画をつくらうと思っています。

いわゆる団塊の世代が全て後期高齢者になる2025年問題というのがございますけれども、そこに向けまして地域包括ケアシステムの構築ということも進めております。こちらもいろんな主体が連携し合っということ、行政がこうするああするということではもはやカバーできない、こういうキーワードの中で進めなければいけない話なので、地域の主体をつくる、ボランティア活動をつくる、支え手をつくる、その人たちが協働して連携してやっていく。自助、互助、共助に向けても大変重要な取り組みだと思っていますので、ご意見を聞きながら私どももしっかり計画を同時並行的に進めてまいりたい、こんなことも考えておりますので、今後とも議論をよろしく願いたいと思います。きょうはありがとうございました。

金光委員長 どうもありがとうございました。大変心強いご挨拶をいただきまして、我々もこれから真剣に、子育て並びに若者をどうやって麻生区へ呼び込むかということで提案をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、事務局からさらに何かございますでしょうか。

事務局 それでは、次回の日程の確認だけさせていただきます。

第5回の全体会議ですけれども、資料8にもあろうかと思っておりますけれども、8月21日金曜日の午後3時から開催とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

金光委員長 今度は午後3時からですので、よろしくお願いいたします。

3 閉 会

金光委員長 以上をもちまして、第4回全体会議を終了したいと思います。本当にありがとうございました。

午前11時6分閉会